

ボランティア電話相談員の養成、 スキルアップのための合宿研修

社会福祉法人 いのちの電話

助成事業の概要

本年度は、コロナ渦による大幅な予定の変更を余儀なくされました。

ボランティア相談員の養成研修について、今年の養成研修は 3 密を避けるための広い研修室が必要となり、外部の会議室を借りることが多くなりました。

実施目的：

コロナによる 3 密を避けるために、研修の会場を従来より広い会場で行うことになりました。研修者が安心して研修を受けることができるように、外部の会議室で行うこととしました。

実施時期：

2020 年 4 月開始予定だった養成研修は 4 月からの緊急事態宣言を受けて、大幅に延期となりました。緊急事態宣言が解かれ、2020 年 9 月より開始となりましたが、さらに、2021 年 1 月に再度の緊急事態宣言があり、キャンセルや予約の取り直しが発生しました。

内容等：

3 密を避けるための広い会場で、研修に必要な各人のふりかえりや、思いを自由に語れる場所として、有効でした。初めて研修を開始した新しい研修者も、安心して取り組む様子がみられました。

事業の成果

従来行っている研修会場が 3 密を避けるために、使用不可能となりました。幸い、会場を外部に借りることができました。アルコールや消毒液、体温計の設備等が整っている中で、いつもの研修と何ら変わりなく、研修を続行させることができました。私たちの電話相談は、心が不安定であったり、複雑な環境を抱えている相談者が多いため、相談者の育成には、慎重で十分な心配りが必要です。そのために、研修の指導者は細かく神経を使うことが多いです。研修の指導者から、会場が安定的に提供されたため、コロナによる余計な心配をすることなく研修に集中できたことは、大変良かった、との感想をいただいています。養成研修を受け始めた方々も、コロナで研修がどうなるか心配したが、決まった会場で、じっくり研修に向き合うことができ安心した、とてもよかった、という感想をいただきました。研修事業を担う私たちも、緊急事態宣言の発出や解除で、キャンセル料の発生など、想定外の予算が必要となりました。合宿費用を会場費に充てることができ、大変ホッとしています。

成果の広報、公表

コロナ禍により、気持ちが不安定になったり、落ち着きが失われたり、持病が悪化した等々、私たちの電話相談の必要性がますます高まり、マスクの取材も数多く受けた一年でした。

電話がつながりにくい、という苦情も多くなり相

談員も大変ですが、一方で、電話相談を担うボランティアも高齢化が進み、コロナ禍により参加率が低下していることも事実です。そんな中、会場を借りるための助成金をいただいたことで、通常通りの養成研修が、延期はあったものの、継続できたことが、何より相談員を養成する機会を失うことなく、今後の継続した安定した活動の運営に寄与することと、ホッとしております。

■ 今後の展開

昨年からの研修の延期の影響で、予定されていた合宿は夏にずれ込みますが、開催の予定です。

また、来年度の募集にも現在続々と応募書類が届いております。引き続き外部の会場を使って、養成研修を続けていく予定です。

昨年度マスコミの取材が多かったために、私たちの活動に関心をもってくくださる方々が増えたようで、相談員募集に関する問い合わせも従来に比べて少し多いようです。今後もコロナが収束するかどうかは未定ですが、消極的になることなく相談員を増やすべく、引き続き研修担当も頑張っていく所存です。